

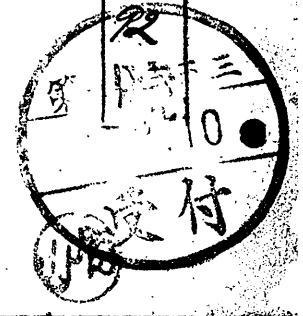


軍事機密

訓示

眼中敵無ク豪氣既ニアラカン
 ラ呑ムノ慨溢ルノ秋茲ニ待望
 久シキ進撃ノ天機ヲ迎ヘ予ハ諸
 子ト共ニ勇躍欣舞旃措ク能ハサル
 モノアルヲ覺ユ
 我等一度印緬國境ノ嶮ヲ越エンカ

30 部ノ内第22



1706

印度四億ノ民衆ハ驟然ハトシテ
 御稜威ノ下ニ馳セタスヘキハ實
 ニ是レ歷史的必然ノ過程ナリ何
 ヲカ補給ノ困難ヲ憂ヘシ進路ノ
 嶮難ノ如キハ期ナラスシテ坦々
 ル兵站路ニ化セン
 今ヤ幾試練ヲ經タル一億銃後國

民ノ敢闘必勝ノ信念ハ恰モ熱
 火ノ迸ルカ如ク我等ノ進撃手ニ
 呼應シツゝアルニ反シ敵陣營
 ノ焦慮苦悶ハ愈々暴虐非道ノ
 本性ヲ露呈シ戦力既ニ枯渇シ
 敗色正ニ蔽ヒ難キモアルハ諸
 子ノ既ニ看ル所ナリ

我等ノ正面ハ英軍ノ最大弱點タ
 ルノミナラス全戦線中ノ要衝タ
 リ。印度一度解放セラレシカ爰
 ニ全戦局ニ終局的段階ヲ印スヘ
 ヘキハ敢テ予ノ言ヲ俟タサラン
 今ヤ我等ハ唯突進アルノミ。猛
 進アルノミ。挺進アルノミ。以テ上

聖明ニ副ヘ奉ルト共ニ一億國
 民ノ待望ニ酬本シノミ
 再言ス烈兵團ノ諸子ハ銳多迄
 勇猛果敢ナレ須ラク英雄ノ心
 ヲ把レヒマラヤノ靈峰ハ我等
 ヲ俯瞰シツハアリ印度四億ノ民
 衆ハ歡呼シテ皇軍ヲ迎ヘン

大東亞戰爭完勝ノ榮光ニ輝ク
 皇紀二千六百四年紀元ノ佳節
 ニ方リ恭シク寶祚ノ無窮ヲ壽
 キ皇謨ノ悠遠ナルヲ仰キ奉リ
 聊カ所懷ヲ披瀝シテ兵團ノ武
 運ヲ祝福ス

昭和十九年二月十一日

250

烈兵團長
佐藤幸徳

1712